2　目 標 達 成 計 画

事業所名　：　グループホーム・ファミリア
作成日　：　令和8年2月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を日常のサービスの中で実践していくための、より具体的な手法を示す指針や方針を作成し、それを基に管理者と職員が共に同じ方向を向き、利用者一人ひとりに、その人らしい暮らしを提供していくことの必要性。	「その人らしい暮らしの提供」実践していくための、より具体的な手法を示す指針や方針の作成。	理念のサブタイトルのようなものを数ヶ月毎に作成し、それを意識していくことが結果として理念の実践に繋がるようにしていく。	3　か月
2	4	運営推進会議の構成員として、新たに警察署や消防署の職員を迎え、それぞれの所管分野に関する事象があった際に、協力をもらえるような関係づくり。	新たな運営推進会議の構成員として、警察署や消防署の職員をゲストとして招く。	協力していただけるか打診する。	6　か月
3	35	災害対策用の備品として、石油ストーブや自家発電機がなく、その他の必要な機器や用具等を含め、災害時に何が必要かについて全員で協議し、有事に対応できる体制を整える必要性。	必要な物品の補填と、有事に対応できる体制を整える。	必要な物品の協議と準備。また、今年の地域の防災訓練に参加し、災害時の地域との連携や各役割体制の取り決めなどを行っていきたい。	12　か月